

気分さわやか 歓声台地にこだま



第九回県民歩くスキーの集い

第九回県民歩くスキーの集いは、三月六日、大野台ハイランドで開かれました。快晴に恵まれ絶好のスキー日和。町内外からの参加者がふえて「大野台の歩くスキー」は冬の行事として、すっかり定着。
二歳の子ビツ子から六十八歳のお年寄りまで参加者約八百人。合川南小学校児童の模範滑走に続いて、一キロ、三キロ、五キロのコースでスキーマラソン。思い思いのペースで、春の日照しを楽しんでいました。(写真 八百人が一せいにスキーマラソンにスタート)

今月の紙面から

- 1面～3面 3月定例町議会
行政報告
- 3面 畠山熊之助さんに百歳
祝金条例を初適用
- 4面 おしらせ

広報

あいかわ

昭和63年(1988年)3月13日 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186(78)2100

'88/
3

第359号

3月定例町議会

北欧の杜構想など

一般会計予算は

二十七億五百五十八万円

町議会三月定例会は二月二十二日に開会六十三年度予算など二十九議案を可決しました。六十三年度予算は一般会計で二十七億五百五十八万円。六十二年度予算に比べ十・五%増の予算になりました。

行政報告



畠山町長

本年は町議会議員の改選が三月二十七日に行われる予定で、しかも定数四名減の定数十八名の最初の選挙がありますので、三月定例会を繰り上げて本日招集いたしました。今定例会には新年度予算案を中心に出議案二十九件について審議を願うものでありますが、条例関係十件、単行議案三件、予算議案十六件となっております。

その役割を果していくことが期待されております。しかし、一方地方財政は国からの財政負担の地方転嫁が年々高まり財政の硬直が進み、その現状は極めて厳しい状況が続いております。このような状況の下において、なお財源の確保に努め、自主的、主体的な地域づくりを推進するための地域振興施策を積極的に展開するため総合的に点検を行い、行政課題を弾力的に取上げて新年度予算の編成を行いました。

行政課題を弾力的に取上げ

地方自治法施行後四十年を経た今日の地方行政は、人口構成の高齢化、国民の価値観の多様化、国際化、高度情報化、地域の過疎化が急速に進み、これらは今後更に進展していくものと予測されております。このような様々な面で大きな変貌を遂げつつある内外の社会経済情勢に的確に対応し、個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指し積極的

財源の過大 見積りしない

一般会計の総額は、二十七億五百五十八万円となりました。前年度当初予算額より二億五千七百三十九万九千円の増額、一〇・五%の伸び率と

町長日記から

「春はあけぼの」と言う言葉がある。春と意表するにぴったりな言葉だ。三月にはいと雪は表面からだけでなく、底からも消えてくる。地温が高くなるためだ。この湿度のある水じょう気が夜の気温がさがることによって霧(もや)となって地表をおう。

午前のかなば頃まで曇(しず)かにあたたまかみのあるべールで覆(おお)ている。山の裾(すそ)野は日本画のようにかくれて、嶺から徐々にはれてゆく。

春は一日一日確実に歩みはじめ次第におとをたてと表現するように、急ぎ足で訪れる。

この季節、学校は卒業の時であり、勤人は転勤への気構えのときであり、農家によっては、年間の営農計画の季節でもある。

地方選挙がたけなわであり三月は、新しい年への事実上の出発なのだ。

(義)

四月一日より商工観光課が新に設置され、町おこし対策室は解消されます。

わたしたちの町

人口	
男	4,454人
女	4,778人
計	9,232人
転入	8人
転出	16人
世帯数	2,291世帯
(2月末日住民登録人口調べ)	

へ一面よりつづく

なりましたが、国の地方財政計画の投資的事業の拡大によるものであり、特定財源の確保は勿論であるが、一般財源の均衡ある調定と対象客体の補促について努めてまいります。歳入の主なるものについては、町税積算に当って税制改正の動向も含めての自然増収を推定し、四億七百七十七万を予定し、地方交付税では国の伸び率七・五%を勘案し、基準財政収入額並びに需要額の算定の基準を参考にして、伸び率六・〇%を見込み十五億四千八百万円、そのほか地方譲与税、自動車取得税等で一般財源を二十億三千二十万六千円を見込んで歳入総額の七五・〇%の構成比となっており。

では、福祉民生関係施策の推進及び広域行政をすすめる施設管理費負担を主体に六億四千五百三十一万四千円、二・九%、公債償還費では四億六千四百七十七万七千円の一七・一%、そのほか積立金、貸付金、繰出金等で一億三千六百三十九万五千円の五・〇%の構成比となっておりますが、経常的経費の節限等により、普通建設事業及び災害復旧事業が五億九千二百二十六万七千円と歳出全体の二一・八%を占め、前年度対比で二億三千六百七十三万六千円、構成比で七・三%と増加されております。

農道整備事業では、合川西部二期地区が七百三十三万四千円と完成され、今秋完成式を予定しています。阿仁川筋農道事業負担金として一千八百四十二万円、阿仁川橋歩道橋調査費二百二十万円、防火水槽三基分の建設費一千八十万円、消防小型積載車購入費等で五百九十九万一千円、教育費関係では合川東小学校屋根大規模改修事業費二棟分三千百三十三万九千円、合川中学校柔道場・便所等の建築改修工事費等で五千三百五十七万七千円、各小学校補修費五百五十万五千円をそれぞれ計上しておりますが、補助事業の枠配分及び起債充当率の不確定要素もありますので確定次第予算補正の必要があるものもあります。

度における暫定措置として保険基金安定制度の実施と高額医療費共同事業の充実等を図ることとなりましたが、国庫負担の調整措置として地方(県、市町村)に財政負担を転嫁し、国二分の一、県四分の一、市町村四分の一について負担を求め、それを地方交付税で措置することになっております。この措置はあくまでも国保の健全化のための措置であるとしておりますが、六十五年度以降においても地域の医療費水準が著しく高い場合は、国の負担とあわせて地方も負担することとなっております。このような状況の下に県の指導によって予算の編成を行いました。被保険者の担税能力や地域経済の現況から保険税負担について慎重に検討を加えて国保運営協議会の審議を経て決定いたしました。

行政需要額並びに事業費の確定に伴い、個別の決算見込みによってそれぞれ補正しております。既定予算二十八億七千七百七十五万六千円に対し三億八千八百四十五万五千円を追加し、三十二億五千二百六十万一千円となりました。

歳入の主なものとしては、生活路線バス運行費補助金四路線分二百二十五万円、合川西小学校歩道橋改修工事費八十五万円、工場誘致奨励費等補助金二百九十九万三千円、町おこし対策委託費等で二百二十四万円、社会福祉基金積立金四百一十五万五千円、福祉医療費追加分三百三十八万二千円、各保育園園舎備品等について新年度と分割措置してありますが、百四十三万円の追加、森吉町外四ヶ町村病院組合に対する転貸資金としての貸付金三億五千六十四万二千円、三里農道整備事業費繰上償還補助金八百二十四万八千円、農地流動化奨励費補助金追加分百八十九万七千円、阿仁川筋農免農道事業費負担金二百九十二万六千円、まどび等観光対策費六十万円、公営住宅管理費六十万円を措置し、また町立小中学校施設整備基金に二千二百万円を積立て校舎建設の資金に充て、今後財政状況によって増額してまいります。中学校の教材備品に百五十五万円、各小学校備品費九十一万四千円、公民館会議室改修費等四百八十四万二千円、給食備品費五十五万円、公有財産取得費、土地建物で八百七十四万九千円の追加が主なるものであります。

これらに充当している補正財源は、町税で一千二十六万八千円、地方交付税特別分三千九百八万三千円のほかは特定財源となっております。

次に合川町国民健康保険事業会計は、当初から医療費の増額に対し、計画的に赤字を想定した予算でありましたが、現段階における見込額は既定予算額五億九千九百八十五万五千円に対し、決算見込みにより四千七百二十二万六千円を減額し、五億四千七百八十五万九千円としております。単年度赤字額は約四千万円が繰越しとなる予定であります。

以上予算案の概要について説明しましたが、なお町政の当面する課題について申し上げます。

水田農業確立対策については、米の需給事情が全国的に四年連続の豊作となったこと及び米の消費の引続き減退傾向にあること等から需要供給の格差がますます拡大する状況にあり、国では新たに米の需給均衡の回復をすすめるため、米需給均衡化緊急対策を講ずることとなりました。

これによると昭和六十三年度の本町の転作目標面積は、前年と同面積の二百八十八ヘクタールでありましたが、限度数量は前年度より二千六百三十四俵少ない、八万五千五百二俵となり、また米需給均衡化緊急対策に係る数量は、他用途利用米が一千九百九十二俵と三〇キログラム、その他一千四百四十一俵と三〇キログラムと非常に厳しい内容となっております。その推進にあたっては一月下旬に町水田農業確立対策協議会と部落推進協議

次は歳出構成では、人件費が六億二百四十六万円となり、歳出全体の二二・三%を占めておりますが、前年度に比し〇・四%減少しております。これは職員の退職と一部業務委託への切替えによるものであります。

物件費及び維持補修費では二億六千八百六十六万七千円の九・九%、扶助費補助費等

次に投資的事業の主なるものについて申し上げます。公有林整備事業は、新植六ヘクタール、下刈り八〇・五ヘクタール、そのほか除間伐等の事業費五千三百五十二万一千円、農村総合整備モデル事業では農道、集落道、排水路整備等で、五千四百九万七千円、二ヶ年継続事業で李岱に建設予定の勤労者福祉研修施設費初年度分で五千六百一十一万五千円、三木田農道整備事業一千四百三十七万七千円、金沢及び上杉灌池整備事業で九百九十九万円、林業振興対策費では三百七十四万九千円、除雪車購入費二千四百二十万八千円、継続事業で進めている町道新設・改良事業の大野台駅線、川井大野線、中学校線の事業費は四千九百六十二万七千円、福祉エリアの関連基盤事業として新年度に認定される大野台東線の新設事業費四千九百六十二万七千円、いづれも緊急地方道臨時整備事業の対象となる予定であります。

次に特別会計について申し上げます。国民健康保険事業については国保財政の厳しい現状から、国では制度の見直しを行い、その経営安定化のため、昭和六十三年度及び昭和六十四年度における暫定措置として保険基金安定制度の実施と高額医療費共同事業の充実等を図ることとなりませんが、国庫負担の調整措置として地方(県、市町村)に財政負担を転嫁し、国二分の一、県四分の一、市町村四分の一について負担を求め、それを地方交付税で措置することになっております。この措置はあくまでも国保の健全化のための措置であるとしておりますが、六十五年度以降においても地域の医療費水準が著しく高い場合は、国の負担とあわせて地方も負担することとなっております。このような状況の下に県の指導によって予算の編成を行いました。被保険者の担税能力や地域経済の現況から保険税負担について慎重に検討を加えて国保運営協議会の審議を経て決定いたしました。

子算総額は五億八千七百五十九万九千円と、前年度当初予算より九千八百五十八千円増となり一世帯当りの保険税は十八万二千円と一万二千円増の増税となりました。それでも単年度で約三千七百万円の運営赤字となり、累積赤字が約七千八百万円となりました。

町政の推進に全力

次に昭和六十二年一般会計補正予算の概要について申し上げます。

これらに充当している補正

診療所医師の交替 歯科が委託診療

次は歳出構成では、人件費が六億二百四十六万円となり、歳出全体の二二・三%を占めておりますが、前年度に比し〇・四%減少しております。これは職員の退職と一部業務委託への切替えによるものであります。

物件費及び維持補修費では二億六千八百六十六万七千円の九・九%、扶助費補助費等

次に投資的事業の主なるものについて申し上げます。公有林整備事業は、新植六ヘクタール、下刈り八〇・五ヘクタール、そのほか除間伐等の事業費五千三百五十二万一千円、農村総合整備モデル事業では農道、集落道、排水路整備等で、五千四百九万七千円、二ヶ年継続事業で李岱に建設予定の勤労者福祉研修施設費初年度分で五千六百一十一万五千円、三木田農道整備事業一千四百三十七万七千円、金沢及び上杉灌池整備事業で九百九十九万円、林業振興対策費では三百七十四万九千円、除雪車購入費二千四百二十万八千円、継続事業で進めている町道新設・改良事業の大野台駅線、川井大野線、中学校線の事業費は四千九百六十二万七千円、福祉エリアの関連基盤事業として新年度に認定される大野台東線の新設事業費四千九百六十二万七千円、いづれも緊急地方道臨時整備事業の対象となる予定であります。

次に昭和六十二年一般会計補正予算の概要について申し上げます。

これらに充当している補正

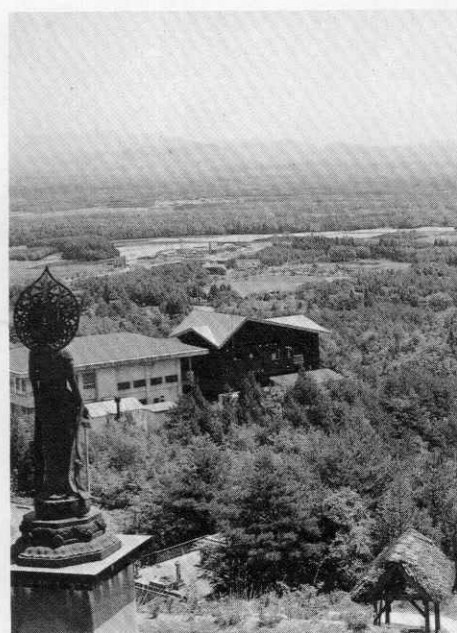
投資的事業に 二十一・八%

物件費及び維持補修費では二億六千八百六十六万七千円の九・九%、扶助費補助費等

次に投資的事業の主なるものについて申し上げます。公有林整備事業は、新植六ヘクタール、下刈り八〇・五ヘクタール、そのほか除間伐等の事業費五千三百五十二万一千円、農村総合整備モデル事業では農道、集落道、排水路整備等で、五千四百九万七千円、二ヶ年継続事業で李岱に建設予定の勤労者福祉研修施設費初年度分で五千六百一十一万五千円、三木田農道整備事業一千四百三十七万七千円、金沢及び上杉灌池整備事業で九百九十九万円、林業振興対策費では三百七十四万九千円、除雪車購入費二千四百二十万八千円、継続事業で進めている町道新設・改良事業の大野台駅線、川井大野線、中学校線の事業費は四千九百六十二万七千円、福祉エリアの関連基盤事業として新年度に認定される大野台東線の新設事業費四千九百六十二万七千円、いづれも緊急地方道臨時整備事業の対象となる予定であります。

次に昭和六十二年一般会計補正予算の概要について申し上げます。

これらに充当している補正



▲豊かな自然を利用して総合開発の進む大野台

町政の推進に全力

次に昭和六十二年一般会計補正予算の概要について申し上げます。

これらに充当している補正

これらに充当している補正

（二面よりつづく）

会の合同会議を開き、本対策の主体的な取り組みを担う生産者団体、農家、並びに関係機関との密接な連携によって円滑に転作営農の定着化を推進するため、生産性の高い複合経営を地域の特性と農家の創意を生かした対策をすすめてまいります。

次に大野台地区区営総合農地開発事業であります。地区調査は二年目に入り新年度は三千九百万円の調査費が措置されることになり、基礎的な継続調査事業に加え、開発地域の確定と土地利用計画の策定、営農方式の決定、モデル団地を設定しての工事費の概算、受益農家台帳の作成などの実施が予定されています。

事業は、未利用、低位利用地の農地造成と灌漑排水、区画整理の土地改良の二地区に区分されますので、森吉山ダムからの灌漑用水確保や困難な排水処理、そして道路網の整備などは、将来の農業振興のみならず産業、生活基礎づくりに欠くことができない要因にもなりますので、関係集落をはじめ各機関団体、町民各層との協議を重ねてまいります。このため集落への説明会、講演会の開催、意向調査、先進地視察、懇談会などを通じて広く理解と認識を深めながら新しい農業の方向づけができるよう検討しなければなりませんと考えております。

次に大規模リゾート構想についてであります。高度化、多様化する国民の余暇活動に対する需要に応え、地域の資源を活かし活性化を促すための大規模リゾート整備

構想は、地域開発の有効な戦略プロジェクトであります。が、本県の八幡平、阿仁、田沢地域は豊かな自然資源に恵まれており、この資源を積極的に活用し、大規模リゾート地として整備することによって過疎化、高齢化の進行等直面する課題の解決とともに地域の振興を図ろうとするものであります。

当地域は、第四次全国総合開発計画にも明示されており、現在県段階で拠点として整備する重点地区を田沢湖畔、田沢湖高原、八幡平、阿仁、森吉、大野台地区の六ヶ所を設定し、本町大野台地区は、北欧的風土を活かした大規模公園の整備や高齢化社会に対応する保養基地形成による「北欧の杜公園ゾーン」として位置づけ、基本構想を策定中であります。

このほか、わが町を取りまく重要課題は既に申し上げたほか、日本海高速自動車道は、大館市、鷹巣間の高規格道路として採択される公算が大きくなり、先般期成同盟会が発足、大野台をはじめ阿仁部四ヶ町村の利用をふくめて米代川の右岸を予定するこの道路は、二ツ井町、大館市間を米代川左岸、いわゆる大野台北部を通るように、県や関係市町村の合意が成立し、この実現を期するとともに県北をあげて運動を展開している県北空港とともに、わが町の未来を指向する重要な問題と受けとめ、町をあげて関心を持つべきものと思われま

す。また、小阿仁川水系対策については、町議会とともに再び萩形ダム分水問題の誤りを

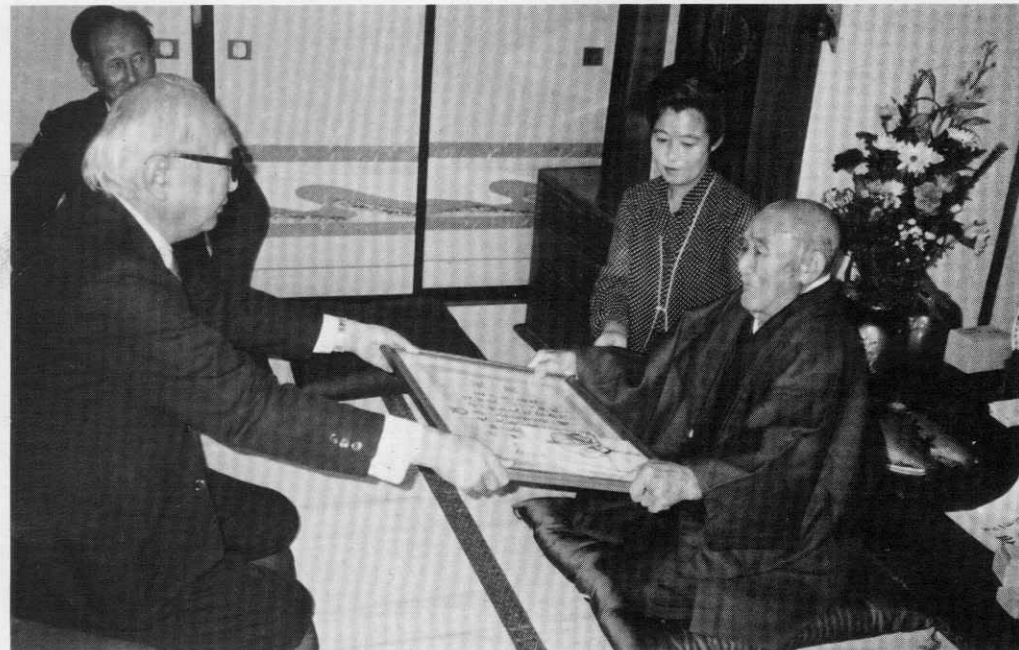
繰り返さないために、上小阿仁村と共同で第二ダムの建設と、小阿仁川本流の水量確保について引き続き推進して参る所存であります。

このほか福祉エリアの展開をはじめ、南地区振興の拠点として三木田バイパスの促進と開発のための用地の確保について積極的に推進したいと思っております。

いま現時点の懸案として、三月をもって退職を予定されている医師の後任の確保がまだ見通しが立たないことであり、今会期中から三月上旬にかけて全力を投入して町の医療機関の機能が中断しないよう奔走し、努力中でありま

す。今定例会に提出している予算案の特色は、小中学校、保育園等の施設及び備品等の大幅改修費並びに基金積立金に計上したことであり、公共施設の機能と充足率が高まるように配慮したことでありま

す。以上、新年度に向っての町政施策の一端を申し述べましたが、二十一世紀を間近にひかえ、情報化、高齢化、国際化の進展等により、経済社会が大きく変化しつつある今日、町行政においてもこれらに的確に対応していくことが必要であります。そのためには、行政の簡素効率化を進めながら、活力と創造性に富む住みよい地域社会の形成に努めなければならぬのであります。



畠山熊之助(木戸石)さんに 百歳祝金条例を初適用 規則正しい生活が秘訣

田畑山 すべてをきわめ 今日の春 百の峠をのぼり めでたし

大館北秋田地区の長寿ナンパーワン・畠山熊之助さんが満百歳の誕生日を迎えた一日、畠山町長、関係者が畠山さんの宅に向いて祝詞や祝い金の百万円を贈呈、長寿を祝うとともに「今後も健康で長生きを」と励ましました。

羽織、袴の盛装で床の間に座った熊之助さんは初めはやや緊張気味でありましたが、次第にリラックスして終始ニコニコ顔で金品を受け取ると、周りからは大きな拍手が湧き起りました。

熊之助さんは、多数の報道陣のインタビューに答え▽生来健康だったからこの年まで医者世話にならなかったことがない▽若い頃から青い松の葉を採って来てかんだり、シヨウチュウに少量入れて毎日飲む▽家の裏の草や木から漢方薬を作り飲んでるなど、長寿・健康の秘訣を披露をしていました。

畠山家ではこのあと親類、縁者多数が熊之助さんを囲んで、「長寿祝」の宴を催し、祝杯を交わしながら長寿を喜び合っていました。

これからも元気で、ますます長生きを……と畠山町長から祝福される熊之助さん

第十回合川町民 剣道大会開催

第十回合川町民剣道大会が二月二十一日合川中学校剣道場で開かれ熱戦をくりひろげました。結果は次のとおりです。

- ▽中学校男子①桜田忍②成田忠大③高橋晃
- ▽同女子①三浦千春②木村範子③工藤円
- ▽高校女子①庄司千鶴子②奈良佳代子③五藤聡子
- 一般男子東北対戦③三対二で西

春の心を 拾いながら

吹きわたる風もどこか春を漂わせるこの頃ですが、合川町の皆様お元気でしょうか。

三月となればあわただしくお仕事も一層忙しく大変なこともあると思います。ご苦労様です。(中略)

私も心うきたつこの頃、子供たちと唄う歌も春のうたが多くなりました。

雪がとけたら合川までドライブしたいものです。

春の心を拾いながら
大曲市四ツ屋西下瀬六二一
六 柏原千春
(全県若妻サミット87の提言者)



熱戦をくりひろげる中学生男子
柏原さんご家族

